



2023年3月期 第2四半期決算短信（日本基準）（連結）

2022年11月9日

上場会社名 テイカ株式会社

上場取引所

東

コード番号 4027 URL <https://www.tayca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 出井 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 総務部長

(氏名) 中務 康介

TEL 06-6943-6401

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	27,767	26.0	2,746	41.4	3,090	44.9	2,165	34.1
2022年3月期第2四半期	22,040	14.4	1,942	7.5	2,132	57.1	1,614	67.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,744百万円 (61.9%) 2022年3月期第2四半期 1,694百万円 (△21.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	93.44	—
2022年3月期第2四半期	69.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	73,163	53,590	72.7	2,293.79
2022年3月期	72,128	51,263	70.6	2,196.16

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 53,158百万円 2022年3月期 50,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2023年3月期	—	18.00			
2023年3月期 (予想)			—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	16.5	3,900	6.8	4,200	1.1	2,900	1.9	125.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	25,714,414 株	2022年3月期	25,714,414 株
2023年3月期2Q	2,539,325 株	2022年3月期	2,539,291 株
2023年3月期2Q	23,175,089 株	2022年3月期2Q	23,175,622 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大があったものの、社会活動の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直しました。しかしながら、急激な円安の進行や原燃料価格の高騰等により、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「MOVING-10 STAGE 1」のもと、「変革による拡大」と「新素材の創出」に注力するとともに、製造原価の低減、業務効率の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、輸出を中心に機能性微粒子製品の販売が回復したこと及び各連結子会社の業績が堅調に推移したこと等により、売上高は277億6千7百万円（前年同期比26.0%増）となりました。営業利益は27億4千6百万円（前年同期比41.4%増）、経常利益は30億9千万円（前年同期比44.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億6千5百万円（前年同期比34.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の10ページ「セグメント情報」をご参照ください）

機能性材料事業

汎用用途の酸化チタンは、需要が堅調に推移したことにより、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面处理製品の販売は、海外化粧品市場が回復したことにより販売数量は前期を上回り、円安の影響も受けて売上高は前期を大きく上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は134億1千4百万円（前年同期比24.7%増）となりました。

電子材料・化成品事業

界面活性剤は、業務用洗剤向けの需要が回復基調にあり、販売数量は前期並みとなりましたが、海外連結子会社の販売が増加したこと及び円安による為替換算の影響により、売上高は前期を上回りました。

導電性高分子薬剤は、ICT関連の需要低迷と半導体不足による自動車生産の減少の影響を受け、販売数量、売上高ともに前期を若干下回りました。

無公害防錆顔料は、半導体不足による自動車生産の落ち込みの影響を受け、販売数量は減少しましたが、販売価格の改定を進めたことにより、売上高は前期を上回りました。

圧電材料は医療機器用の国内顧客の在庫調整があったものの、海外連結子会社も含め海外顧客向けの販売が好調に推移したため、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は136億4千9百万円（前年同期比29.0%増）となりました。

その他

倉庫業は、主要顧客の取扱量が増加したことにより、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は7億4百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は、731億6千3百万円（前連結会計年度末比10億3千4百万円増加）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が15億2千9百万円、商品及び製品が18億2千6百万円、それぞれ増加し、現金及び預金が13億1千1百万円、原材料及び貯蔵品が4億7千9百万円、それぞれ減少したことによります。

負債合計は、195億7千2百万円（前連結会計年度末比12億9千2百万円減少）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億9千5百万円、長期借入金が5億3千8百万円、それぞれ減少したことによります。

純資産合計は、535億9千万円（前連結会計年度末比23億2千7百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が17億4千8百万円増加したことによります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが、14億3千8百万円の収入（前年同期比10億5千7百万円収入額の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益30億6千3百万円、棚卸資産の増加による支出11億4千4百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、16億2千4百万円の支出（前年同期比1億6千7百万円支出額の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出12億6千4百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、13億3千3百万円の支出（前年同期比1億1千6百万円支出額の増加）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出9億8千万円、配当金の支払額4億1千5百万円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より13億1千1百万円減少し、116億7千万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、2022年5月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間の業績予想との間に差異が生じました。詳細につきましては、本日付で「2023年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照ください。

なお、原燃料価格の推移、為替相場や新型コロナウイルス感染症の収束時期等、先行きが不透明であることから、2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました業績予想を据え置いております。今後の状況を注視し、見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,060	11,749
受取手形及び売掛金	13,738	15,268
電子記録債権	350	324
商品及び製品	8,044	9,871
仕掛品	1,279	1,253
原材料及び貯蔵品	4,997	4,518
その他	831	427
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	42,300	43,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,421	6,861
機械装置及び運搬具（純額）	7,028	7,065
その他（純額）	3,796	3,184
有形固定資産合計	17,246	17,112
無形固定資産		
のれん	1,463	1,594
その他	164	132
無形固定資産合計	1,628	1,726
投資その他の資産		
投資有価証券	9,786	9,567
その他	1,186	1,367
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	10,953	10,913
固定資産合計	29,827	29,752
資産合計	72,128	73,163

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,873	6,577
短期借入金	2,906	2,754
未払法人税等	864	950
賞与引当金	360	365
その他	3,485	3,181
流動負債合計	14,490	13,829
固定負債		
長期借入金	2,100	1,562
退職給付に係る負債	3,152	3,165
その他	1,121	1,015
固定負債合計	6,374	5,743
負債合計	20,865	19,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	31,562	33,311
自己株式	△2,460	△2,460
株主資本合計	45,725	47,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,912	4,757
繰延ヘッジ損益	181	101
為替換算調整勘定	72	810
退職給付に係る調整累計額	4	15
その他の包括利益累計額合計	5,170	5,685
非支配株主持分	367	431
純資産合計	51,263	53,590
負債純資産合計	72,128	73,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	22,040	27,767
売上原価	17,134	21,897
売上総利益	4,905	5,870
販売費及び一般管理費	2,963	3,124
営業利益	1,942	2,746
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	107	121
為替差益	45	166
その他	57	82
営業外収益合計	211	374
営業外費用		
支払利息	14	20
棚卸資産廃棄損	2	8
その他	3	1
営業外費用合計	20	30
経常利益	2,132	3,090
特別利益		
出資金売却益	67	—
リース解約益	21	—
特別利益合計	88	—
特別損失		
固定資産除却損	42	26
特別損失合計	42	26
税金等調整前四半期純利益	2,179	3,063
法人税、住民税及び事業税	606	886
法人税等調整額	△61	△11
法人税等合計	544	875
四半期純利益	1,634	2,188
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,614	2,165

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,634	2,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212	△154
繰延ヘッジ損益	46	△79
為替換算調整勘定	208	779
退職給付に係る調整額	17	11
その他の包括利益合計	59	556
四半期包括利益	1,694	2,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,673	2,679
非支配株主に係る四半期包括利益	21	64

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,179	3,063
減価償却費	1,537	1,507
のれん償却額	117	144
受取利息及び受取配当金	△107	△125
支払利息	14	20
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,593	△914
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△949	△1,144
仕入債務の増減額 (△は減少)	706	△742
その他	821	266
小計	2,726	2,076
利息及び配当金の受取額	107	125
利息の支払額	△14	△20
法人税等の支払額	△323	△742
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,496	1,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,240	△1,264
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△213	△356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,456	△1,624
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	237	62
長期借入金の返済による支出	△976	△980
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△415	△415
その他	△62	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,217	△1,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	36	208
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△141	△1,311
現金及び現金同等物の期首残高	13,250	12,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,108	11,670

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能性材料 事業	電子材料・ 化成品事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	10,756	10,582	21,339	700	—	22,040
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	609	(609)	—
計	10,756	10,582	21,339	1,310	(609)	22,040
セグメント利益	492	1,304	1,796	140	5	1,942

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能性材料 事業	電子材料・ 化成品事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	13,414	13,649	27,063	704	—	27,767
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	655	(655)	—
計	13,414	13,649	27,063	1,359	(655)	27,767
セグメント利益	1,474	1,114	2,588	150	7	2,746

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。